

## ALC NetAcademy 利用状況

### 1. 概要

ALC NetAcademyは英語授業利用を主目的としたWeb学習プログラム(コンテンツ)で、2004年に導入され、パイロット運用を開始した。2005年にWebサーバを4台構成にして、同時利用(一斉で300人規模)の授業利用が可能となった。

2008年にはALC NetAcademy2にバージョンアップされ、操作性・機能が向上された。2012年にはサーバの仮想化及び認証連携を実施し、V-CampusIDによる認証連携を実現した。

2013年にこれまで使用していたコース(スタンダード)契約から、スーパースタンダード/TOEIC2000というコースに変更し、コンテンツ・教材数を増やし授業利用の幅を広げている。

### 2. 利用状況

#### ▼利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体	2230	2124	2087	2062	64	2292	2319	2294	2244	2007	86	101
2017年度入学	2073	2058	2032	2034	19	2236	2237	2207	2145	1967	53	43
2016年度入学	84	35	17	10	25	21	36	46	48	12	21	34
2015年度入学	53	23	26	11	12	22	27	28	33	15	6	17
2014年度入学	12	6	10	5	8	11	16	12	17	12	6	5
2013年度以前	8	2	2	2	0	2	3	1	1	1	0	2

表1：利用人数集計サマリ

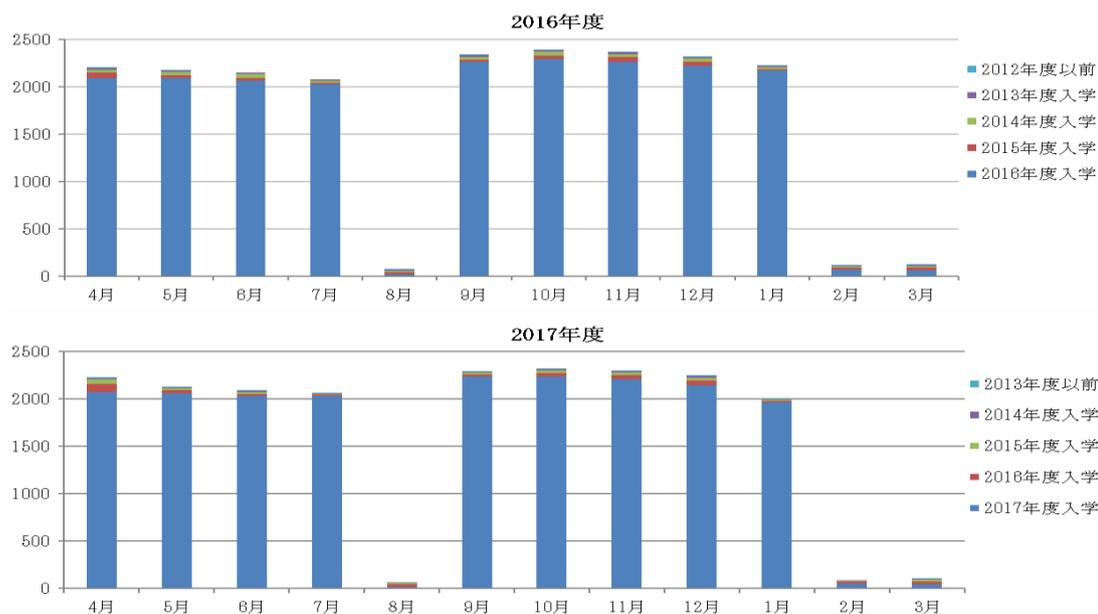


図1：2016年度、2017年度利用人数

### 3. 2017年度のまとめ

ALC NetAcademy2 利用者の割合は、例年通り E-learning 授業が必修である 1 年生が大半を占めており、2 年生以降の英語学習に継続利用されていないことが伺える。

2013 年に契約したスーパースタANDARD/TOEIC2000 コースのうち、TOEIC2000 コースについては 2017 年度末で契約を終了した。

2018 年度からは新しい Web 学習プログラムとなる ATR 社の ATR CALL BRIX を導入し、スーパースタANDARDコースと合わせて授業利用を開始する。

今後は自己学習用の英語教材である Rikkyo English Online (REO) や ATR CALL BRIX と共に、利用推進活動を行っていく。